様式第８号（第６条関係）

| 決裁 | 議　長 | 局　長 | 次　長 | 係　長 | 係　　員 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

# 派遣承認要求書

令和５年10月16日

栗原市議会議長　殿

会派に属さない議員
尾形　勝通　㊞

下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

記

| | |
|---|---|
| 日　　時 | 令和５年11月20日（月）05時45分から<br>令和５年11月22日（木）20時30分まで |
| 派遣先 | ①　**道の駅たけはらと歴史的町並みの現地視察**『広島県竹原市本町１丁目１－１』<br>②　**竹原市議会**『広島県竹原市中央五丁目１番35号』<br>③　**mine秋吉台ジオパーク**『山口県美祢市秋芳町秋吉11237-862』<br>④　**タカミヤ環境ミュージアム**『福岡県北九州市八幡東区東田2-2-6』 |
| 派遣目的 | ①・②現存する歴史的な町並みの魅力をどのように守り、磨き、活かし、継承し、交流の場とし発信しているか、観光と結び付けて生かしているか、道の駅を中心とした歴史的な街並みや街づくりと観光との融合を現地視察と机上調査。<br>③山口県内で初めて日本ジオパークに認定された場所。美祢市での地域の自然や歴史、文化の成り立ちを学ぶ場所として、秋芳洞をどのように観光に結び付けているのか。我が市の栗駒山麓ジオパークとの違いや共通点、ジオパークの運営方法などを学び、ユネスコ世界ジオパークの認定に向けた活動の取り組みを視察。<br>④北九州市博覧祭のパビリオンとして誕生した環境学習の場。環境活動の拠点としての「環境ミュージアム」。公害克服や、世界の環境問題、身の回りのエコ活動や市民・企業の環境への取り組みなど、“SDGs未来都市”である北九州市の取り組み方を視察。 |
| 経　　費 | 旅費127,490円　現地支払いバス・地下鉄代含<br>その他経費：視察先へのお土産代2,640円：ガイド、入洞料5,000円 |
| 派遣議員氏名 | 尾形　勝通 |
| 議長依頼文の要否 | ㊐　　否 |
| 備　　考 | その他参加者　市民くりはら２名、創成会２名 |

受付
-5.10.19
栗原市議会

式第９号（第６条関係）

| 決裁 | 議　長 | 局　長 | 次　長 | 係　長 | 係　　員 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |

# 自家用車による出張計画表

令和５年１０月１６日

栗原市議会議長　殿

栗原市議会議員
尾形　勝通

下記のとおり自家用車による出張をしたいので、承認されるよう要求します。

記

| | |
|---|---|
| 日　時 | 令和５年11月20日～令和５年11月22日 |
| 出 張 先 | 広島県竹原市・山口県美祢市・福岡県北九州市 |
| 目　的 | 行政視察（栗原市役所から仙台空港までの往復） |
| 出 張 議 員 | 尾形　勝通 |
| 自家用車所有者 | 佐藤　千昭（市民くりはら） |

行程明細

| 出発地～行先 | 利用道路 | 距離(km) | 車　賃 | 有料道路代 | 駐車場代 |
|---|---|---|---|---|---|
| 栗原市役所～仙台空港 | 東北道他 | 85 | 680 | 512 | |
| 仙台空港～栗原市役所 | 東北道他 | 85 | 680 | 512 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | 小　計 | 170 | 1,360円 | 1,024円 | 600円 |
| | | | 出張雑費 | | |
| | | | | | |
| | | | 総　計 | 2,984円 | |

経費参加者５人で案分

議会 -5.10.13 栗原市議会

# 栗原市議会会派視察行程表

日程：令和5年11月20日（月）～11月22日（水）

| 月日 | 行　　程 | 発 | 着 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|
| 11/20（月） | 市役所　～　仙台空港 | 6:00 | 7:20 | 自家用車乗り合わせ |
| | 仙台空港　～　広島空港 | 8:05 | 9:40 | IBX39 |
| | 広島空港　～ 道の駅たけはら | 10:00 | 10:30 | 連絡バスタクシー |
| | **市内街並み現地視察** | 10:30 | 12:00 | 行政視察 |
| | **竹原市役所視察** | 13:00 | 14:00 | 行政視察 |
| | 竹原駅　～　広島駅南口 | 14:14 | 15:21 | かぐや姫号[芸陽バス] |
| | ホテル（広島市内泊） | | | 広島ワシントンホテル　082-553-2200 |
| 11/21（火） | 広島駅　～　新山口 | 9:08 | 9:57 | ＪＲ山陽新幹線 |
| | 新山口　～　秋芳洞 | 10:20 | 10:57 | 防長バス |
| | 秋芳洞　～ Mine秋吉台ジオパーク | 11:10 | 11:35 | タクシーにて移動 |
| | **Mine秋吉台ジオパーク視察** | 13:00 | 15:00 | 行政視察 |
| | Mine秋吉台ジオパーク ～　秋芳洞 | 15:15 | 15:30 | タクシーにて移動 |
| | 秋芳洞　～　新山口 | 15:40 | 16:19 | 防長バス |
| | 新山口　～　下関駅 | 16:45 | 18:02 | ＪＲ山陽新幹線 |
| | ホテル（下関市内泊） | | | ドーミーインPREMIUM下関　083-223-5489 |
| 11/22（水） | 下関駅　～ スペースワールド駅 | 9:06 | 9:43 | ＪＲ山陽本線・徒歩 |
| | **タカミヤ環境ミュージアム視察** | 10:30 | 12:00 | 現地視察 |
| | スペースワールド駅 ～　博多駅 | 13:58 | 14:47 | ＪＲ鹿児島本線 |
| | 福岡空港　～　仙台空港 | 16:50 | 18:30 | IBX17 |
| | 仙台空港　～　栗原市役所 | 18:40 | 20:00 | 自家用車乗り合わせ |
| | 解散 | 20:00 | | |

申請日　　5 年 10 月 16 日

# 会派視察 旅費以外 経費見積書

部署：　会派に属さない議員

氏名：　尾形　勝通

| | |
|---|---|
| | |
| | |

**合計：　¥3,820**

| 日付 | 内容 | 支払先 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 11月22日 | mineジオパーク視察ガイド料　2時間　6,000円 | mineジオパーク | ¥1,200 | 1名分　@1,200円 |
| 11月22日 | 秋芳洞入洞料　@1,300 | 秋芳洞 | ¥1,300 | 1名分　@1,300円 |
| 11月20日 | 視察先への栗原土産（竹原市・美祢市）6,600円 | 観光物産協会 | ¥1,320 | 1名分　@1,320円 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

様式第１０号（第７条関係）

# 視察研修結果報告書

令和７年　３　月　21　日

栗原市議会議長　高橋　渉　殿

氏名　尾形　勝通　印

視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

記

１　期　間　　令和５年11月20日～22日

２　視察研修先

① 広島県竹原市　「道の駅たけはら・歴史的町並み」（観光まちづくり担当部）

② 広島県竹原市 竹原市役所（総務企画部産業振興課 商工観光振興係）

③ 山口県美祢市 美祢秋吉台ジオパーク（教育委員会世界ジオパーク推進課）

④ 福岡県北九州市 タカミヤ環境ミュージアム（里山を考える会）

３　目　的

①，② 道の駅を中心とした、歴史的な街並みや街づくりと観光との融合を現地視察。竹原市役所では竹原市の観光施策についての机上調査。

③ 山口県内で初めて日本ジオパークに認定された場所。地質学的成り立ちを学ぶ場所として、またどのように観光に結び付けているのか。我が市の栗駒山麓ジオパークの運営方法などの参考にする。

収受
-7.3.21
栗原市議会

④　北九州市博覧祭のパビリオンとして誕生した環境学習の場を視察する。

4　調査研究内容

別紙の通り。

5　参加議員

尾形　勝通

# 調査研究内容

## 1 広島県竹原市　「道の駅たけはら・歴史的町並み」

概要

広島県竹原市の歴史的町並みは江戸時代から昭和にかけての建築物が保存されており地域資源を活かしたまちづくりが進められていた。

①歴史的価値の保存と資源としての活用

当市では伝統的建物群保存地区として指定された「町並み保存地区」の建築物や景観保存に力を入れていた。保存の為の専門的な修理や修景事業がおこなわれ外観の維持や、復元が施されていた。この地を利用した映画やテレビ番組が多く創られている。江戸から昭和にタイムスリップした景観がまさに地域資源となっていた。

所見

①観光資源としての活用

歴史的町並みを活かした観光事業がすすめられており、観光客の誘致や地域の活性化に大きく貢献していると感じた。この観光プロモーションを栗原市の観光振興の参考にして参りたい。

②財源の確保策が大切

保存活動には多額の支出が見込まれており、補助金の確保充実や持続可能な資金調達の方策を講じる必要性を感じた。

## 2 広島県竹原市 竹原市役所（総務企画部産業振興課　商工観光振興係）

概要

当市は竹原まちづくり機構を令和４年に設立。この法人は竹原市長が先頭に立って、竹原ブランドの形成と新たな付加価値を創造する事と文化の向上や地域の活性化に寄与する目的でまちづくり法人として設立されている。

所見

わが市では現在、栗原山麓のめぐみ等「くりはらブランド」を創造するよう地域再生マネージャー事業等を推進している。竹原市のまちづくり機構の竹原ブランドの確立、観光コンテンツ造成や情報の一元化等の取り組みは「くりはらブランド」形成に参考になる事例と思料された。くりはらブランディング推進に今回の視察の調査研究をとりいれた提案をして参りたい。

## 3　山口県美祢市 Mine 秋吉台ジオパーク

概要

当地は自然環境と地質学的価値が融合したジオパークであり持続可能な観光や教育活動のモデルになるジオパークであると感じられた。

①カルスト地形の魅力

このジオパークは石灰岩が広大に拡がり、その景観は大きな魅力となっている。また地質学に触れる貴重な機会を提供し、自然の壮大さと美しい景観は圧巻であった。

②ジオツーリズムの推進について

環境への配慮をしながら観光資源として活用され、特にガイド付きのジオツーリズムは地質学を学びながら楽しめるところが印象に残った。

③教育と住民参加

地元の学校や団体がジオパークに関与しており、環境教育が充実し、地元のイベントやワークショップがある。

所見

栗駒山麓ジオパークと規模においても、景観も異なったジオパークと感じられた。今回の視察で依頼した有料ジオガイドを依頼する人は少ないという。ジオパーク運営上有料としている事は理解できた。栗原市ではジオ教育、環境教育の受け入れの場として市内外へに発信し、今後とも教育貢献と地域貢献をするように、ジオパークを運営していくことが大切だと思料された。尚、観光人口の増につなげる運営を政策的に推進して行くことを提案して行きたい。

## 4　福岡県北九州市 タカミヤ環境ミュージアム

概要

①公害克服と展望について

北九州市がかつて直面した公害問題の克服の歴史が展示されおり、SDGｓの展示もあり、現代の環境問題への取り組みを考えるきっかけとなる環境ミュージアムであった。

②施設の環境配慮策

太陽光発電や雨水利活用システムなどミュージアム自体が環境に配慮され、環境教育の施設となっていた。

所見

今回の視察研修において公害克服の展示を視察したが、環境関連では栗原市もゼロカーボンシテイを推進しており、市においては市民１人１人が環境に関心をもち、自分事として取り組んでもらえる様、積極的に広報やイベント等で周知される政策推進を望むものである。またこの環境政策は市民、事業者、行政が協働して推進する必要があると思料された。